



# 伸びゆく幌別

## 人口一九〇九九人に

町に於いては、去る十月一日に実施された、昭和三十五年国勢調査の集計を急いでおりましたが、その結果、果人戸二九、〇九九人、世帯数六、二二五で、昭和三十年の国勢調査より、四、三二三人を上まわると云う結果を得ました。

この調査によつて、いちじるしく人口の増加した地域は、上鶴別、千才、本町、来馬で特に上鶴別は前回の調査により五十三%も上回つており新しい住宅地とあります。又本町、来馬地域は、鉱山、中登別、富浦、札内、川上、富岸と農林漁地域で、中でも鉱山の三十四%減が目立つています。一方逆に人口の減少した地域は、鉱山、中登別、富浦、札内、川上、富岸と農林漁地域で、中でも鉱山の三十四%減が目立つています。以上のように、当町の人

鉄北土地区画整理事業区域内における土地の使用収益と建築行為等について

土地の所有者に対する仮貸しは既に夫々指定しておらず、その使用収益については従前の土地は使用できません。従つて前年の土地は一応御破算とし、新しい換地の上に使用収益しなければなりません。又、土地所有者にして方（借地権者）も、この場合に土地を貸しておられる方、別の云い方をすれば、他人から土地を借りている方（借地権者）も、この場合に土地（換地）に移動していくので、それに従属して動いていくことになります。このことは借地権者にしても、従前の借地は使

用できず新しい土地所有者にあります。この新しい換地上に建築する場合においても、その着工前に許可申請し、そ

の状態は商工業の著しい伸展によつて、農林漁業地域より市街地集中の傾向をみせていますが、このような都市集中の、共通した現象であるといえましょう、又

全国的にみられる、人口大都市集中の、共通した現象であるといえましょう、又



地域名	人口			前調査との差	普通世帯	準世帯	計	前調査との差
	男	女	計					
山ス泉別別浦内才馬上隊町宅岸別別計	142	115	257	34%減	47	2	49	39減
ル温登	258	96	354	30%増	35	11	46	15増
ル温登	1,620	1,934	3,554	8%増	576	5	691	132増
ル温登	172	172	344	15%減	74	22	79	2増
ル温登	1,266	1,214	2,480	17%増	545	1	567	144増
ル温登	369	340	709	5%減	137	0	138	1増
ル温登	166	153	319	18%減	60	6	60	7増
ル温登	456	440	896	45%増	197	6	203	58増
ル温登	1,658	1,609	3,267	23%増	753	42	795	420増
ル温登	117	124	241	4%減	36	0	36	9増
ル温登	512	0	512	22%減	0	0	0	433増
ル温登	2,133	2,135	4,268	35%増	995	1	1,065	100減
ル温登	3,638	3,508	7,146	4%減	1,425	6	1,431	2増
ル温登	102	86	188	8%増	36	13	154	99増
ル温登	319	289	608	53%増	141	52	857	192増
ル温登	2,117	1,839	3,956	20%増	805	354	6,225	1,355増
ル温登	15,045	14,054	29,099	15%増	5,871			



カカルス温泉  
別温泉

## 間道路改修成る

### 町営住宅の建設について

方々には、個人宛通知書一

を郵送いたします

昭和三十五年度の道より割当のあつた町営住宅の建設状況は次の通りであつて

、住宅事情緩和に努めた

、社会教育委員の方々に申し出で下さい。尚該當者数及び地区社会教育委員は次の通りです。

内教育委員会又は各地区的組合、案内済等のため案内状の届かぬときは、役場

をみると至つた、全長九十メートルでP.Sコンクリートをつかつた三連式永久橋

である。一方、登別温泉町席のもとに盛大に行われた

来福橋は昭和三十四年八月の災害で流失され、その着工をいたが、昭

和三十五年一月、総工費、昭和三十四年

改修工事は、昭和三十五年十一月に完成

〇〇、〇〇〇円でした。(写真は来福橋)

七月に竣工費、一一五、〇

工をいたが、昭和三十五年十一月に完成

〇〇、〇〇〇円でした。

カカルス温泉間の道路

改修工事は、昭和三十五年四月

改修工事は、昭和三十五年四月